



MABOOST®

解き放て、
植物の力。



収量を高める、 ワンショット・ブースター!

穀物の登熟を増進する バイオスティミュラント資材

イルダーワン®

わずか1回の散布で、
光合成産物の実への転流と実の肥大を促進します。
昨今の厳しい環境ストレスの中でも、穀物の登熟を促進させ、
収量・品質の維持や向上が期待できるバイオスティミュラント資材です。

総輸入元  三井物産アグロビジネス株式会社



イールダーワンの特長

1: 1回の葉面散布で効果を発揮

様々な植物生理活性に好影響を与える海藻エキスと2種類の植物抽出物（イネ科、アカザ科）を主原料とした葉面散布用液肥で、1回の葉面散布で効果を発揮します。葉面散布後、植物体内に取り込まれれば、収穫までバイオスティミュラントとしての効果が持続します。

3: 植物ホルモンのバランスを調整

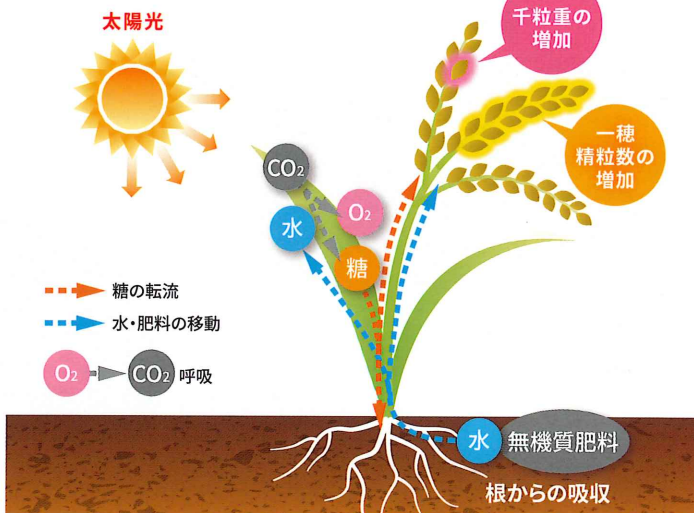
植物ホルモン（オーキシンとサイトカイニン）のバランスを調整し、実の適切な発達と成熟を促進させます。

※オーキシン: 根・葉・花などの器官形成に関与 サイトカイニン: 細胞分裂の促進に関与

2: 転流&栄養輸送をダブルで促進

光合成により、葉でできた糖類などが登熟過程の実への輸送（転流）を促進させます。植物の発育と代謝に必要な硝酸態チッソ、微量元素（マンガン・亜鉛・銅等）の吸収と植物体内での輸送（転流）を促進させ、同時にリン酸の吸収と利用効率も高まります。

【植物の体内イメージ】



使用方法

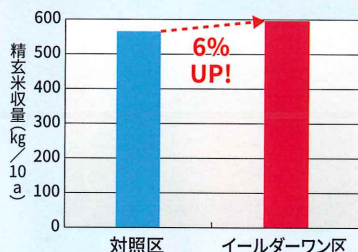
作物名	使用時期	散布方法	散布量 (mL/10a/回)	散布回数	期待される効果
秋小麦	開花始期	葉面散布 (ブームスプレー等) 空中散布 (ヘリ・ドローン等)	200	1回	精麦歩合および 千粒重の増加による増収
春小麦	着莢始期		100~200	1~2回	稈実莢数、 100粒重の増加による増収
大豆	穂ばらみ期 ~出穂始期				精玄米歩合および 千粒重の増加による増収
小豆	本葉: 4~6葉期		200	1回	雌穂の肥大促進、 登熟向上による増収

水稻

◎一穂粒数の増加

- 使用地: 北海道日高町
- 品種: ゆめぴりか
- 使用量: 200mL/10a・回
- 散布時期: 7/29 (出穂期)
- 農薬混用: なし
- 収量調査: 9/9
- タンパク質値(%): 対照区7.3, YO区6.8
- 食味値: 対照区76, YO区82

※上記分析には静岡製機食味分析計
TM3500を使用



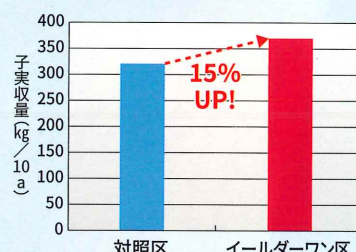
9/9時点 (収穫直前)

大豆

◎稈実莢数&百粒重の増加

- 使用地: 北海道網走市
- 品種: エキホマレ
- 使用量: 200mL/10a・回
- 散布時期: 着莢始期
- 農薬混用: あり
- 収量調査: 10/6

登熟促進により仕上がり
が早まる傾向あり



10/6時点 (収穫直前)

【製品概要】

肥料登録: 液状肥料 (輸第107606号)

施肥方法: 葉面散布

希釈倍率: 500~1,000倍

使用量: 原液100~200mL/10a/回

使用回数: 1~2回/作

pH		保証成分			その他含有成分		比重	色
原液	100倍液	窒素全量 (TN)	水溶性加里 (WK)	マンガン	モリブデン	亜鉛	1.2	黒
6.2	6.5	2.0%	2.0%	0.30%	0.20%	0.50%		

使用上の注意

- 農薬との混用事例もありますが、農薬混用の際は事前に少量混用試験を行い、散布に問題ないことをお確かめください。
- 強アルカリ性資材 (石灰硫黄合剤等)、銅剤との混用散布は避けてください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。誤って飲み込んだ場合、直ちに医師の診断を受けてください。
- 施肥作業後は、洗顔やうがいをし、皮膚等への付着物を洗い流してください。
- 開封後は短時間で使い切ってください。開封後に保管する場合、密閉して直射日光を避け、乾燥した場所で保管してください。
- 散布溶液を作成した場合、当日中にご使用ください。

詳しい
製品情報は
こちら！

